

科目名/提供大学名	ふくいを知る・見る・考える／福井大学
科目名(英文)	Knowing, Observing & Reflection on Fukui
対象学年	原則として、全学年。
開講時期	前期:集中(9/11～9/14①②③④限目) AOSSA 601研修室
単位数	2単位
科目区分	選択(地域コア科目群:「持続可能な社会・環境づくり分野」)
授業形態・開講形態	講義及びフィールドワーク活動
担当教員名	地域創成教育研究センター教員(吉田史朗ほか)
オフィスアワー	講義の前後に質問等を受け付ける
教員メールアドレス	shiryosh@u-fukui.ac.jp
概要	地域の自然、環境、歴史、産業などを共に、地域が抱える諸問題や課題に対して関心を持ち、地域をフィールドとして自ら学び、地域社会のさまざまな人との積極的な触れ合いなども通して普通の大学のキャンパスでは学べないことを地域と協働して主体的に学ぶ場とする。
学習・教育目標との関連	各大学の目標との関連は、科目の提供大学側では書けないと思われます。
授業目標・目的	ふくいの自然・環境・文化・社会に関する知識を身につけるとともに、地域社会の持続的発展に自ら何ができるか考え実践するための基礎能力
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)	<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力
学生の目標・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ふくいの特色や強みを理解して、自らの学修に役立てること。 ・多様性、グローバル化の重要性を理解して自分の将来設計に資すること。 ・主体的に地域の課題を発見し解を見いだす能力を身につけること。 ・多様な人々との出会いを活かすこと。
授業計画・授業内容	<p>(具体的なテーマ・授業内容については、現在調整中のため、決定次第、追って公表する。)</p> <p>【参考までに平成29年度の内容を示す。】</p> <p>第1回 COC事業から学ぶこと その楽しみ 第2回 福井の医療 ～過去、現在、未来～ 第3回 先端技術研究所&工場見学 第4回 " 第5回 明治維新 150年と福井藩 橋本左内 第6回 " 坂本龍馬 第7回 " 由利公正 第8回 仕事の醍醐味「ベルリンの壁 崩壊」報道 第9回 コラムニストという仕事 時代を切り取る眼 第10回 これからが面白い福井の繊維 第11回 起業家精神 第12回 福井の環境と女性の活躍 第13回 福井の自然災害をふりかえる 第14回 地域の水環境と水棲生物 第15回 福井から輸出される農業</p>
授業方法	オムニバス形式の講義とする。副学長をはじめ、COC事業に関わっている教員のみならず地域で活動している一般の方を招聘して授業を行う。担当者によって様々な講義スタイルがあるが、主としてパワーポイント・画像等を用いて講義を行う。
キーワード	人材育成, ものづくり・産業振興・技術経営, 地域医療の向上, 持続可能な社会・環境づくり, 原子力関連分野の人材育成, 防災体制の確立
教科書	資料を印刷し、配布する。必要に応じ、関連図書を紹介する。
参考書	
評価方法・評価基準	各回の小レポートごとの評価を統合し成績を判定する。 なお、1/3以上欠席した学生は不可とする。
関連科目	
履修の要件	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻厳禁 ・初日に学外での活動があるため、必ず学生教育研究災害傷害保険に加入していること。
必要な事前・事後学習	あらかじめ、テーマに示された内容について、下調べしておく。また講義で示された事例について、まとめるとともに、不明な点を調べ、理解を深める。
その他・注意事項	